



# 花栗中だより

令和5年12月1日 第9号  
草加市立花栗中学校 生徒数379名

教育目標 自ら考え 心豊かに たくましく生きる  
◇学力を伸ばす生徒（知） ◇豊かな心を育てる生徒（徳） ◇心身共に健康な生徒（体）

## 制服について考える

校長 笠井 誠 司

花栗中学校では、現在生徒の皆さんが着用している制服について、見直し・検討を進めようとして計画しております。令和8年度4月入学の1年生、現在の小学4年生が花栗中へ入学するときに着用する制服に焦点をあてて、新しくするかどうか検討しよう、という計画です。花栗中学校47年の歴史を考えますと、制服を見直し・検討するということは一大事業です。花中の制服を着て卒業した卒業生9,728人と現在の全校生徒379人、合計10,107人の花中生が制服を着用してきました。一万を超える生徒とご家族の皆様、花中生の登下校の姿を長年見守ってくださっている地域の皆様方と、とても多くの方々花栗中学校の制服と関わりを持ちながら、様々な思いをもって過ごしてきたことと思っております。

昭和52年（1977年）4月、花栗中学校が開校した当初は、まだ制服は制定されていませんでした。『開校十周年記念誌』に、開校当時の思い出をつづったページがありました。

H先生：入学式の洋服の鮮やかさに私はびっくりしました。

O先生：2，3年生は栄中の制服でした。（中略）1年生は・・・、9月頃ですか、制服になったのは。

1学期は1年生は私服で登校していたようです。2，3年生は栄中の制服のまま花中に転校。卒業アルバムを見ると、第1期生、第2期生は、男子は黒の詰め襟、女子はセーラー服を着用している姿が見られます。



花栗中学校標準服 <ブルーのブレザーとエンジのネクタイ>

標準服 決まる  
「どんな標準服が花中にふさわしいですか」  
保護者・生徒・教員にアンケートをとり、最も  
花中生らしい制服をと検討を重ね、標準服が制  
定された。

そして、同じ『十周年記念誌』に、「標準服決まる」の記事（左図）がありました（当時、制服は「標準服」と呼ばれていたようです）。どんな制服が花中にふさわしいか、保護者、生徒、教員にアンケートをとり、花中らしい制服を決めるために検討を重ねたことが記されています。

制服に対しては、着用している生徒の皆さんだけでなく、保護者の皆様、そして教職員にもそれぞれの

思い入れがあるものと思います。そして、47年という年月が経ち、卒業生やその保護者の皆様は地域の一員として花栗中を見守ってくださっています。そのような多くの方々の思いを受け止め、制服の見直し・検討を慎重に考えていかなければと改めて感じているところでございます。

制服検討の進捗状況につきましては、今後この「花栗中だより」やホームページ等で発信してまいります。

<花中の、「ココ大切なところ！」>

### 制服の見直し・検討の計画について（案）

令和6年1月 制服に関する意識調査（アンケート）実施 ※本校生徒、保護者、教職員

令和6年2月 調査（アンケート）集計結果の公表 ※『花栗中だより』（学区内小学校へも配布）、ホームページ

令和6年4月～5月 花栗中学校制服検討委員会の立ち上げ

※生徒代表、本校保護者代表、学区内小学校保護者代表、地域住民、本校職員で組織

令和6年6月～令和7年3月 制服検討委員会による検討会議の開催、（新しくする場合は）制服デザインの決定

※進捗状況を『制服検討委員会だより』（学区内小学校へも配布）、ホームページで発信

令和7年4月～ 制服販売方法、販売価格等詳細の検討、決定

令和8年4月～ （新しくする場合は）新1年生が新制服を着用して登校

花栗中学校ホームページアドレス：<http://www.soka-stm.ed.jp/hanaguri-jh/>

